令和７年度第１回市政アンケート結果（概要）

市政アンケートモニター制度に基づき実施した令和７年度第１回市政アンケート結果の概要は、以下のとおりです。

１　アンケート名

令和７年度第７次小樽市総合計画進捗管理のための市民アンケート

※　本調査は、第７次小樽市総合計画基本計画の各施策で設定している市民アンケート指標の推移を把握することを目的とするものです。

令和元年度から隔年で実施しており、今回は４回目の調査となりますが、市政アンケートモニター制度を利用した調査は、今回が初となります。

２　アンケート実施期間

令和７年８月７日（木）～同月２１日（木）

３　回答者数／回答率

３５３名／７７．１％（モニター登録者数４５８名）

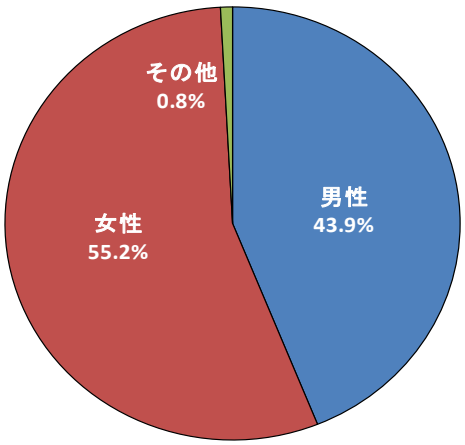
４　回答者の属性別内訳

属性		回答者数（名）	割合
性別	男性	155	43.9%
	女性	195	55.2%
	その他	3	0.8%
年齢	18～29 歳	28	7.9%
	30～39 歳	37	10.5%
	40～49 歳	77	21.8%
	50～59 歳	95	26.9%
	60～69 歳	70	19.8%
	70～79 歳	38	10.8%
	80 歳以上	8	2.3%
居住地区	塩谷地区	6	1.7%
	長橋・オタモイ地区	42	11.9%
	高島地区	12	3.4%
	手宮地区	14	4.0%
	中央地区	60	17.0%
	山手地区	65	18.4%
	南小樽地区	58	16.4%
	朝里地区	66	18.7%
	銭函地区	30	8.5%
全体		353	100%

（２）回答者属性割合

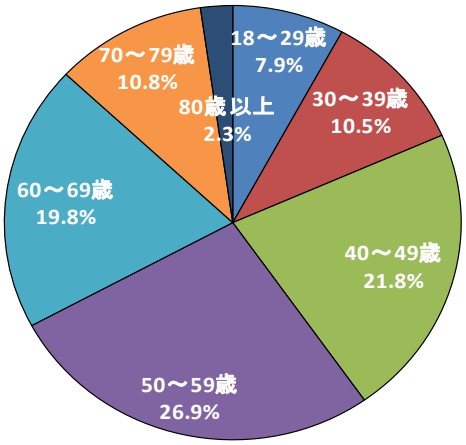
①　性別

・男　性　　１５５件（４３．９％）
・女　性　　１９５件（５５．２％）
・その他　　３件（　０．８％）



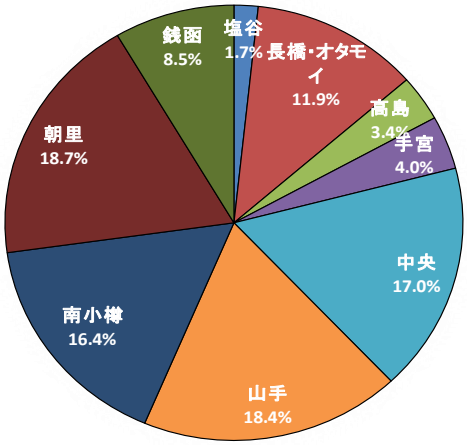
②　年齢

・１８～２９歳　　２８件（　７．９％）
・３０～３９歳　　３７件（１０．５％）
・４０～４９歳　　７７件（２１．８％）
・５０～５９歳　　９５件（２６．９％）
・６０～６９歳　　７０件（１９．８％）
・７０～７９歳　　３８件（１０．８％）
・８０歳以上　　８件（　２．３％）



③　居住地

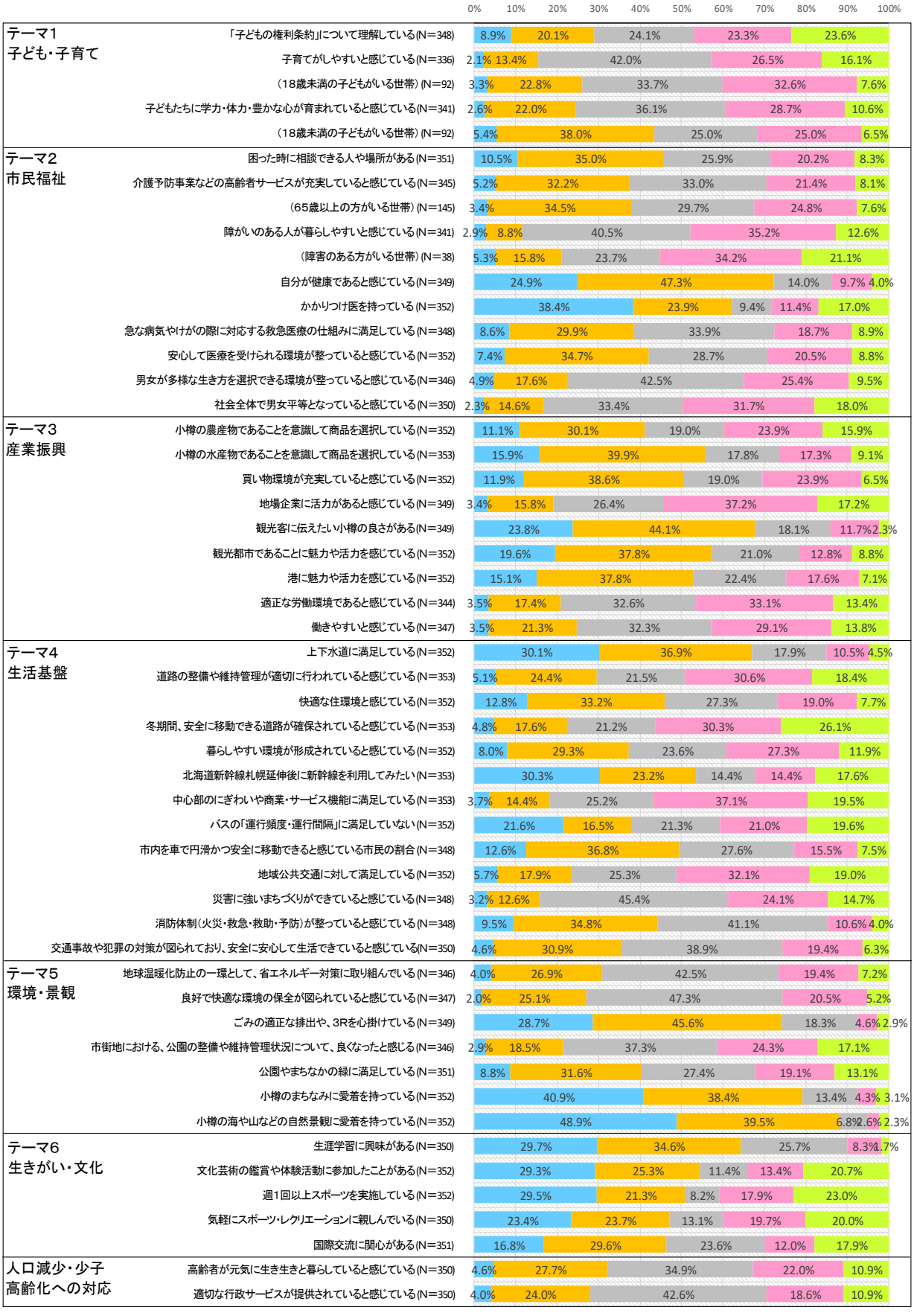
・塩谷地区　　６件（　１．７％）
・長橋・オタモイ地区　　４２件（１１．９％）
・高島地区　　１２件（　３．４％）
・手宮地区　　１４件（　４．０％）
・中央地区　　６０件（１７．０％）
・山手地区　　６５件（１８．４％）
・南小樽地区　　５８件（１６．４％）
・朝里地区　　６６件（１８．７％）
・銭函地区　　３０件（　８．５％）



●塩　谷　地　区	蘭島、忍路、桃内、塩谷
●長橋・オタモイ地区	オタモイ、幸、長橋、旭町
●高　島　地　区	祝津、赤岩、高島
●手　宮　地　区	手宮、末広町、梅ヶ枝町、錦町、清水町、豊川町、石山町、色内３丁目
●中　央　地　区	稲穂、花園、色内１・２丁目、港町、堺町、東雲町、山田町、相生町、入船１・２丁目
●山　手　地　区	富岡、緑、最上、松ヶ枝、天狗山、入船３～５丁目
●南小樽地区	住ノ江、住吉町、有幌町、信香町、若松、奥沢、天神、真栄、潮見台、新富町、勝納町、若竹町、築港
●朝　里　地　区	桜、船浜町、朝里、新光、望洋台、新光町、朝里川温泉
●銭　函　地　区	張碓町、春香町、桂岡町、銭函、見晴町、星野町

4　アンケート結果

（1）各設問の回答



※N(Nunber of Cases)とは回答者総数を示す
※小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100．0%にならない場合がある

（２）第７次総合計画基本計画市民アンケート指標値（基準値と今回の数値）

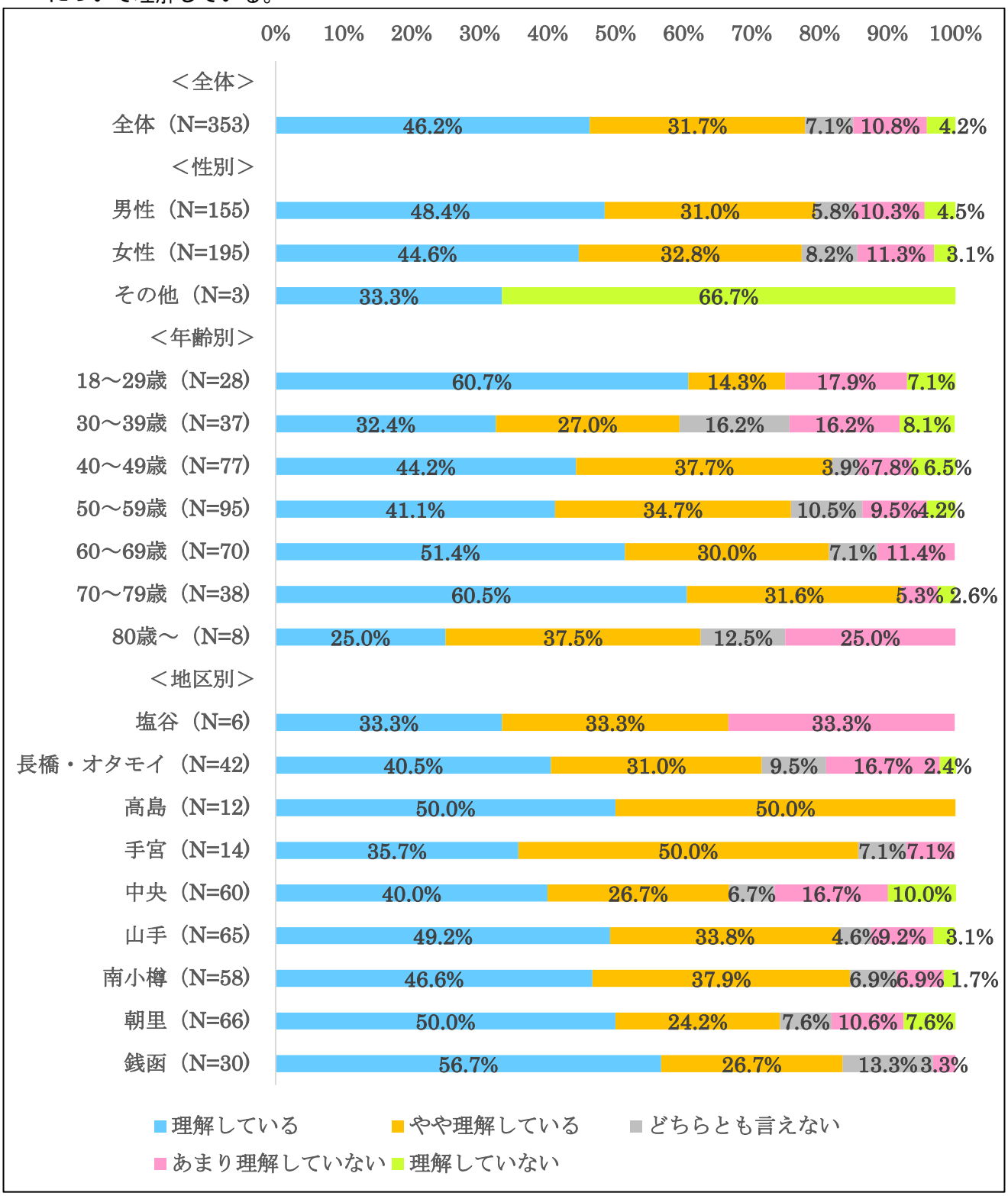
まちづくりのテーマ	施　策	アンケート指標	基準値(R1)	R7数値
テーマ１ 安心して子どもを生み育てることのできるまち（子ども・子育て）	1-1 子ども・子育て支援	子どもの権利条約について理解している市民の割合	26.2%	29.0%
		子育てがしやすいと感じている市民の割合（１８歳未満の子どもがいる世帯）	22.0%	26.1%
	1-2 学校教育	子どもたちに学力・体力・豊かな心が育まれていると感じている市民の割合 （１８歳未満の子どもがいる世帯）	23.4%	43.5%
テーマ２ 誰もがいきいきと健やかに暮らせるまち（市民福祉）	2-1 地域福祉	困った時に相談できる人や場所がある市民の割合	49.1%	45.6%
	2-2 高齢者福祉	介護予防事業などの高齢者サービスが充実していると感じている市民の割合 （６５歳以上の方がいる世帯）	38.4%	37.9%
	2-3 障がい者福祉	障がいのある人が暮らしやすいと感じている市民の割合 （障害のある方がいる世帯）	21.1%	21.1%
	2-4 保健衛生	自分が健康であると感じている市民の割合	58.5%	72.2%
	2-5 地域医療	かかりつけ医を持っている市民の割合	67.0%	62.2%
		急病等の際に対応する救急医療の仕組みに満足している市民の割合	39.9%	38.5%
		安心して医療を受けられる環境が整っていると感じている市民の割合	38.7%	42.0%
	2-6 男女共同参画社会	男女が多様な生き方を選択できる環境が整っていると感じている市民の割合	21.4%	22.5%
		社会全体で男女平等となっていると感じている市民の割合	22.3%	16.9%
テーマ３ 強みを生かした産業振興によるにぎわいのまち（産業振興）	3-1 農林業	小樽の農産物であることを意識して商品を選択する市民の割合	36.2%	41.2%
	3-2 水産業	小樽の水産物であることを意識して商品を選択する市民の割合	49.7%	55.8%
	3-3 商業	買い物環境が充実していると感じている市民の割合	44.6%	50.6%
	3-4 工業・企業立地	地場企業に活力があると感じている市民の割合	10.7%	19.2%
	3-5 観光	観光客に伝えたい小樽の良さがあると答えた市民の割合	61.1%	67.9%
		観光都市であることに魅力や活力を感じている市民の割合	49.4%	57.4%
	3-6 港湾	港に魅力や活力を感じている市民の割合	29.6%	52.8%
	3-7 雇用・労働	適正な労働環境であると感じている市民の割合	13.1%	20.9%
		働きやすいと感じている市民の割合	15.0%	24.8%
テーマ４ 生活基盤が充実した安全で暮らしやすいまち（生活基盤）	4-1 上下水道	上下水道に満足している市民の割合	61.4%	67.0%
	4-2 道路・河川	道路の整備や維持管理が適切に行われていると感じている市民の割合	35.9%	29.5%
	4-3 住宅	快適な住環境と感じている市民の割合	44.0%	46.0%
	4-4 除排雪	冬期間、安全に移動できる道路が確保されていると感じている市民の割合	29.3%	22.4%
	4-5 市街地整備	暮らしやすい環境が形成されていると感じている市民の割合	37.8%	37.2%
		北海道新幹線札幌延伸後に新幹線を利用してみたいと答えた市民の割合	43.3%	53.5%
		中心部のにぎわいや商業・サービス機能に満足している市民の割合	14.7%	18.1%
	4-6 交通	バスの「運行頻度・運行間隔」における不満足の割合　※低下を目指す指標	49.2%	38.1%
		市内を車で円滑かつ安全に移動できると感じている市民の割合	45.6%	49.4%
		地域公共交通に対して満足している市民の割合	34.3%	23.6%
	4-7 防災・危機管理	災害に強いまちづくりができていると感じている市民の割合	17.4%	15.8%
	4-8 消防	消防体制（火災・救急・救助・予防）が整っていると感じている市民の割合	45.3%	44.3%
	4-9 生活安全	交通事故や犯罪の対策が図られており、安全に安心して生活できていると感じている市民の割合	37.7%	35.4%
テーマ５ まちなみと自然が調和し、環境にやさしいまち（環境・景観）	5-1 環境保全	地球温暖化防止の一環として、省エネルギー対策に取り組んでいる市民の割合	29.1%	30.9%
		良好で快適な環境の保全が図られていると感じている市民の割合	27.7%	27.1%
	5-2 循環型社会	ごみの適正な排出や、３Rを心掛けている市民の割合	71.7%	74.2%
	5-3 公園・緑地	市街地における、公園の整備や維持管理状況について、良くなったと感じる市民の割合	28.6%	21.4%
		公園やまちなかの緑に満足している市民の割合	43.1%	40.5%
	5-4 都市景観	小樽のまちなみに愛着を持っている市民の割合	76.0%	79.3%
		小樽の海や山などの自然景観に愛着を持っている市民の割合	80.8%	88.4%
テーマ６ 生きがいにあふれ、人と文化を育むまち（生きがい・文化）	6-1 社会教育	生涯学習に興味のある市民の割合	48.0%	64.3%
	6-2 文化芸術	文化芸術の鑑賞や体験活動に参加したことのある市民の割合	35.7%	54.5%
	6-3 スポーツ・レクリエーション	成人の週1回以上のスポーツ実施率	24.2%	50.9%
		気軽にスポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	23.1%	47.1%
	6-4 国際交流	国際交流に関心がある市民の割合	29.3%	46.4%
人口減少・少子高齢化への対応	2 将来人口への適応	高齢者が元気に生き生きと暮らしていると感じている市民の割合	29.2%	32.3%
		適切な行政サービスが提供されていると感じている市民の割合	24.5%	28.0%

※基準値(R1)、R7 数値は、市民アンケートの各設問の回答「当てはまる」及び「やや当てはまる」の合計値です。

指定緊急避難場所・指定避難所の認知度に係る調査結果

（第７次小樽市総合計画進捗管理のための市民アンケートと合同実施）

設問：自宅又は勤務場所から災害時に避難する最寄りの指定緊急避難場所・指定避難所の位置や避難経路について理解している。



※　図中のＮとは（Ｎ＝Number of cases）のことであり、回答者数を示す。

※　回答の構成比は百分率で表し、小数点第２位を四捨五入して算出しているため、全ての選択肢の合計が１００．０％にならない場合がある。